

みんな電力、リコー本社へグループ初となる
営農型オフサイトPPA発電所からの再エネを供給
～追加性・地域貢献を重視した再エネ導入の強化に貢献～

再生可能エネルギーのプラットフォーム「みんな電力」を運営する株式会社UPDATER(所在地:東京都世田谷区、代表取締役:大石英司、以下UPDATER)は、株式会社リコー(社長執行役員:大山 晃、以下リコー)、二本松ご当地エネルギーをみんなで考える株式会社(代表取締役社長 近藤 恵)とともに、地域社会に貢献する取り組みとして、リコー本社事業所の電力の一部に、リコーグループ初となる営農型オフサイトPPA発電所からの再エネ電力を供給開始いたします。



本案件の背景

今回、UPDATERがリコーに電気を供給する発電所は、自然共生・地域共生型の営農型太陽光発電(ソーラーシェアリングとも呼ばれる)で、日本の脱炭素社会実現に向けた高いポテンシャルが期待されています。この発電所は、耕作放棄地を活用し地元農家が主体となった理想的なソーラーシェアリングとして、農林水産省より営農型太陽光発電のモデル的取組支援事業に採択されています※1。この発電所では、太陽光の日射角度に応じ最適な発電量を確保するための可動式架台型太陽光パネルや、朝夕などの時間帯により多くの発電が可能な垂直設置型太陽光パネルといった先進的技術を導入しており、より効率的な発電が期待されます。

UPDATERは、リコーが2021年度より導入した再エネ総合評価制度に基づき、経済面、社会面、環境面の3側面から評価された電力供給事業者として選定されており※2、現在、リコー本社事業所はみんな電力が供給する質の高い再エネ電力によって再エネ率100%を実現しています。今回、営農型太陽光発電所からの電力を一部供給することで、リコーの地域貢献をより一層高めることが期待されます。

みんな電力は、リコーグループが2017年に日本企業として初めて「RE100」へ参加したことを契機に、同グループの再エネ使用率の向上と追加性のある再エネ導入を後押ししてきました。今後もオフサイトでのフィジカルPPAやバーチャルPPAなど、多様な手段を通じて再エネの導入を加速させるとともに、地域社会への貢献と「追加性」への対応を強化していきます。

※1 令和6年度・農林水産省「みどりの食料システム戦略推進交付金・地域循環型エネルギーシステム構築」として採択済み。

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/renewable/energy/attach/pdf/yosan-64.pdf>

※2 再エネ総合評価制度

https://jp.ricoh.com/sustainability/environment/zero_carbon_society/initiative#office

https://jp.ricoh.com/release/2021/0302_1

本PPAについて

供給場所: 株式会社リコー 本社事業所

供給開始時期: 2025年5月

導入規模: 発電量 164.2kWdc 年間想定発電量 195,477kWh

株式会社UPDATERについて

2021年10月1日にみんな電力株式会社より社名変更。ソーシャル・アップデート・カンパニーとして、法人・個人向けにSX* コンサルティングを提供。「顔の見える電力™」や「TADORi」などを通じて、誰もが簡単に参加できる社会を作る仕組みを開発・提供しています。世界中の様々なソーシャルグッドを、プラットフォームを通じて多くの人びとへ届け、持続可能な社会システムを共創していきます。*SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション): 企業が変化する社会に対応しながら、長期的・持続的に「稼ぐ力」を維持・向上させるための取り組み。

所在地: 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22 サンタワーズセンタービル8F

代表取締役: 大石 英司

設立: 2011年5月25日

事業内容: SXコンサルティング事業、「顔の見える電力™」などの電力事業、その他プラットフォーム事業

URL: <https://www.updater.co.jp/>

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社UPDATER 戦略広報チーム 豊島・菊川

TEL: 03-6805-2228(受付時間 平日 11:00~15:00)

E-mail: pr@minden.co.jp